別紙１（第３第１項（１），第７第１項（１）関係）

【記入例】

令和３年度作付転換営農継続支援事業（機械・施設導入支援事業）

（ハード支援）

　事業計画書（事業実績報告書）

１　事業実施主体の概要

|  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 氏名（名称・代表者氏名） | 〇〇〇〇〇〇　代表〇〇〇〇 | 生年月日（代表者生年月日） | | | Ｓ・Ｈ  　〇〇年　〇月　〇日 | |
| 所在地 | 〇〇市〇〇〇〇〇〇 | | | | ☑　中山間地域である | |
| 区分 | ☑　農業者　　　　□　農業法人　　　　□　農業生産組織  □　農業団体　　　□　その他（　　　　　　　　　） | | | | | |
| 農業者・農業生産組織の場合：☑　法人化を見込む。　　※個人、任意組織は選択が必要条件 | | 法人化の予定年月：令和４年１２月 | | | |
| 営農部門 | 水稲，大豆，露地野菜 | | | | | |
| 連絡先 | 担当者役職・氏名：代表者本人　〇〇〇〇  TEL：0225－12-12〇〇  FAX：0225－12-12〇〇  E-mail：〇〇〇＠・・・・・・ | | | 主たる従事者数（構成員数） | | ５人 |

２　転換品目及び目標拡大面積

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 転換品目 | 目標拡大面積（選択する事業タイプ） | | 申請者の拡大面積  R3→【R４年産】の拡大 |
|  | 中山間地域に該当 |
| □　露地園芸 | ☑　　２０ａ以上 | ☑　左面積の1/2 | （　　　３０　ａ　） |
| □ 　１ｈａ以上 | □　 　〃 | （　　　　　ｈａ　） |
| □　施設園芸 | □　　１０ａ以上 | □ 　　〃 | （　　　　　　ａ　） |
| □　　３０ａ以上 | □　 　〃 | （　　　　　　ａ　） |
| □　麦，大豆，飼料作物，ＷＣＳ用稲 | □　 ５ｈａ以上 | □　 　〃 | （　　　　　ｈａ　） |
| □　１０ｈａ以上 | □　 　〃 | （　　　　　ｈａ　）  ↑「経営概要書」で申請品目として“〇”した品目の増加面積⑤と整合しているか確認。 |
| □　飼料用米，輸出用米 | □　１０ｈａ以上 | □　 　〃 | （　　　　　ｈａ　） |
| □　２０ｈａ以上 | □　 　〃 | （　　　　　ｈａ　） |

　３　事業の目的等

（１）現状及び課題（営農継続に向けて解決すべき課題等）

〇〇〇の栽培の定植では，現在，□□１台と作業者５人の作業体系で，〇〇ａの作付をしている。生産面積拡大（適期作付等）に向けて，〇〇〇〇が課題である。

（２）事業の目的（本取組によってもたらされる効果等）

・例１　機種〇〇の導入によって，〇〇割程度の省力化（低コスト化，所得拡大）が図られる。

・例２　拡大した面積において，適期作業が可能となり，秀品率の向上が見込める。

・例３　WCS用稲の拡大面積は，専用品種（東北２１１号（確保中））で生産する。

※ＷＣＳ用稲と飼料用米の場合は，ここに専用品種であることを追記してください。

４　機械・施設等の取得等に係る計画（実績）

|  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 既存の主な機械・施設  （拡大品目に係るR３年産用） | | | **事業申請する機械・施設名**  **【Ｒ４年産用】（R4又はR5を記入）** | | 耐用年数 | 事業費  ［消費税抜］ | 負担区分 | | 備考 |
| 名　称 | 規格及び能力 | 導入年 | 名　称 | 規格及び能力 |  | 県補助金 | その他  （自己負担） |
| トラクター  管理機  動力噴霧器 | 50馬力 １台  7馬力 １台  １台 | H30  H28  R1 | たまねぎ移植機  運搬車 | 3.5馬力４条植え　１台  ５馬力　　１台 | ７  ７ | 2,623,500円  1,000,000円 | 記入不要  （県補助金は，事業費の合計に対して，１／２の千円未満切り捨てで計算する。） |  | ※中古、リース等 |
|  |  |  |  |  |  | 3,623,500円 | 1,811,000円 | 1,812,500円 |  |

（注）規格及び能力には，馬力，条数，棟数，面積等を記載すること。

５　機械・施設等の取得等に係る根拠等（規格及び能力が，本取組に必要である理由）

・例１　現在，〇〇の定植作業は，１０ａ当たり作業員５人で8時間を要している。本事業で導入する移植機は，１０ａを４時間で定植する能力を持つ。

定植作業を１０ａ当たり作業員３人，４時間で可能となり面積拡大及び適期作業に必要である。

・例２　今回導入する〇〇〇とＲ３年時所有の〇〇〇〇を合わせて，〇〇ｈａの適期作業が可能となる。

〇〇〇の適期作業は，天候を考慮すると約７日間で実施しなければならない。今回導入する〇〇〇は，１０ａを〇時間で作業する能力を持ち，面積拡大のために必要である。

６　添付書類

（１）事業実施主体の経営概要書(経営概要書\_様式)及び，ポイント表

（２）事業実施主体（組織）の定款の写し又は事業実施主体（個人農業者）の住民票抄本の原本

（３）事業実施主体の直近１か年の決算書

（４）機械・施設等のカタログ

（５）機械・施設等の参考見積書（請求書・領収書）

　　（６）その他採択要件の確認に必要な書類